

第1回竹田市立中学校「制服のあり方」検討委員会

- ・ 日 時：令和4年5月17日（火）15:30～16:30
- ・ 場 所：竹田市役所3階
- ・ 参加者：制服検討委員及び事務局7名

【資料の説明】

以下の資料について説明を行った。

- 資料1 竹田市立中学校「制服のあり方」検討委員会委員名簿
竹田市立中学校「制服のあり方」検討委員会の目的・検討事項・要綱
検討委員会スケジュール
- 資料2 公立中学校における制服の取引実態に関する公正取引委員会調査報告
- 資料3 文部科学省通知（通学用服等の適正な取扱い）
- 資料4 文部科学省資料（性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応）
- 資料5 児童・生徒・保護者アンケートの実施・内容について

【意見交換】

□委員から発言

- ◆ブレザータイプになっても経済的負担が軽減しない可能性があると考えられる。経済的なことがだけが先にいくと導入後に話が違うという事になりかねないかが心配である。多様性の配慮という部分を全面的に出した議論を進めたほうがよいと思います。
→（教育委員会）教育委員会では、現在の制服は登下校を含めた学校生活での過ごしやすさ、経済的負担に加えアイロンなど準備等の保護者の負担、男女ごとの指定による性的マイノリティの方々への配慮やジェンダーの平等の視点から課題があると捉えていますので、アンケート等でもその辺の論点をしっかり説明していきたい。
- ◆アンケート結果で統一の制服を導入しないという事もありうるのか？
→（教育委員会）ありえます。アンケート結果を尊重する方針である。ただ多様性への配慮の観点から今後の検討を継続する必要があると考えます。
- ◆この制服の検討が、性的マイノリティの方々への配慮やジェンダーの平等を子どもたちの中で考える機会になるとうれしい。
→（教育委員会）児童・生徒会や児童・生徒会長が集まる会などで議論できる機会にしていきたい。
- ◆昔ながらの靴下の色は白などの校則はあるのか？
→（学校代表）基本的な校則ないです。しかし1年生は白をはくという無言の先輩・後輩間の配慮はあると思います。

【アンケートについて】

- ◆調査対象
市内中学校生徒全員／小学4・5・6年児童
市内小・中学校保護者
- ◆調査方法
児童・生徒：Google フォーム利用したインタネット回答（iPad活用）
保護者：Google フォーム利用したインタネット回答及び紙ベース回答
- ◆期間
令和4年5月24日（火）～6月20日（月）